

欠損指の再建治療 仕方がないとあきらめていませんか？ 患者自身も驚くようなきれいな指を再建します！

2022年7月1日

※本コンテンツは、医師の方を対象とし、当医療機関についての理解を深めていただけるよう作成しているものであり、一般の方を対象とする宣伝・広告等を目的としたものではありません。

こんにちは。関西電力病院 形成再建外科 部長の松末 武雄（まつすえたけお）です。

私は形成外科を基盤とする手外科専門医*であり、一般的な形成外科診療のほか、手指の痛み・変形や、手の外傷といった手外科診療にも力を入れています。

手の診療においても機能回復だけにとどまらず、形成外科ならではの「キズあとのケア」といった、整容面も含めた改善を目指して診療を行っているのが、当科の特色です。

今回はその中でも特に私が力をいれている、欠損指の再建治療についてご紹介します。



松末 武雄
形成再建外科
部長

“

*手外科専門医は整形外科あるいは形成外科の専門医を取得後、日本手外科学会が定める研修を経て試験に合格した手の診断・治療の専門家です。

整形外科を基盤とする手外科専門医が多く、形成外科を基盤とする手外科専門医はまだ残念ながら少ないのが現状です。

”

手指の欠損や変形の悩み

交通事故や労災事故などにより指の切断に至ることはまれではありません。

母指の欠損は手機能としての障害が大きいため再建治療が強く勧められますが、示指から小指までの欠損については1指が欠けていても手全体の機能としては保たれていることがほとんどのため、絶対的に必要な治療ではありません。

しかし、手は顔に次いで常に露出している部位でもあり、手指の欠損や変形で悩まれている患者さまは意外と多くおられます。

当科では急性期だけでなく、過去に指切断をされ欠損指となったものも治療しており、知覚といった機能はもちろん、外観上もできるだけ元の指の長さ・太さ・爪の大きさに近い指を再建するよう力を入れております。

再建手術の流れと当院の症例

再建手術では、健側の指の大きさを細かく計測し、その計測値をもとに足趾に採取デザインを決定します。

骨、神経血管を含めて採取し、指に移植して再建します。

神経血管の再建には顕微鏡を使用します。

足趾と手指では形態がかなり異なりますので、移植時に手指の形態に近くなるようさまざまな手技上の工夫を凝らし再建しています。

必要に応じて第2趾の関節や腱を合併移植することもあります。

足趾から組織を採取しますが、歩行などの生活に影響が極力でないようにしています。

手術後はリハビリテーションも重要となりますが、当院には手専門の作業療法士（ハンドセラピスト）が複数在籍しており、患者さまの状態に合わせた専門的なリハビリテーションが行えることも当科の強みです。

再建手術によって、写真のように劇的な改善が得られ、足への影響も最小限であるため、患者満足度は非常に高い再建方法です。

2年前の就労中の事故による右小指欠損の症例

このままでは再就職時に誤解を生むとのことで再建手術を希望され、当科を紹介いただきました。



これらの写真の掲載について、患者さまご本人より書面での同意を得ております。

右第1趾部分移植による再建術後1年の状態がこちらです。



これらの写真の掲載について、患者さまご本人より書面での同意を得ております。

この症例では腸骨移植を組み合わせることで指の長さを調整しました。

再建した小指の知覚も移植組織に含めた神経と残存小指の神経を縫合することにより、日常生活に支障のないレベルにまで回復しました。

再建手術後1年の足の状態がこちらです。



これらの写真の掲載について、患者さまご本人より書面での同意を得ております。

右第1趾から組織採取していますが、右第1趾の関節はすべて温存されており、歩行上特に重要な足底側にはあまり癒痕がないようにしています。

一般的に、足趾からの組織移植では足部の合併症・後遺症が最大の欠点とされていますが、当科で行っている工夫により、安静時も歩行時も疼痛がほとんどなく、日常生活にもあまり支障がありません。

関西電力病院 形成再建外科の診療について

現在、私を含めた形成外科専門医2名を含む4人の常勤医師体制で形成外科・再建外科の幅広い診療を行っています。

欠損指の再建といった大きな治療だけでなく、中高年の方に多い手指の痛み・変形といった変性疾患や、他院で治療後の手指拘縮などにも対応しています。

手の外傷救急（切り傷といった小さなケガから切断といった大きなケガまで）は基本的に24時間受け入れる体制をとっています。

もちろん手以外の部位の形成外科疾患も幅広く治療しております。

下記ボタンの当科ホームページに現在治療している疾患の一覧を掲載しております。

お困り、お悩みの患者さまがおられましたら、ぜひご紹介ください。

患者さまにとって最善の治療を提案させていただきます。



松末 武雄（まつすえ たけお）

形成再建外科 部長

■所属学会 資格

日本形成外科学会専門医・領域指導医

日本手外科学会専門医・代議員

日本マイクロサージャリー学会

日本形成外科学会認定再建・マイクロサージャ

リー分野指導医日本創傷外科学会専門医

日本形成外科手術手技学会

日本美容外科学会

日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会

京都大学臨床准教授

お問い合わせ先



関西電力病院 地域医療連携室

TEL:06-7501-1406 平日8:30~17:00 土曜日8:30~12:00 ※日祝は除く

FAX:06-6458-0347

メールアドレス:kandehp.tiiki@a2.kepco.co.jp

ホームページ:<https://kanden-hsp.jp>